

第63期 事業のご報告 2011.4.1 ▶ 2012.3.31

# IR HANDBOOK



# ひと目で分かる 松田産業

当社グループは、「地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献すること」を企業理念として、

- 限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」
- されいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」
- 地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」

の3事業を展開しています。

貴金属関連事業（「貴金属事業」「環境事業」）を拡大・成長の牽引部門、  
食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、  
安定性と成長性を実現する企業づくりを行っています。

## 貴金属関連事業

### 事業内容

#### 貴金属事業

- 貴金属地金・貴金属  
化成品の製造、貴金  
属のリサイクル、薄膜  
形成装置治具の精密  
洗浄、半導体・電子部  
材の販売

#### 環境事業

- 感光材料に含まれる  
銀のリサイクル、産業  
廃棄物の収集・運搬、  
廃酸・廃アルカリなど  
の無害化中間処理、  
リサイクル

### 事業の強み

- 創業以来70余年間蓄  
積された高度な技術・  
ノウハウで、前処理か  
ら分析、製錬まで対応。  
金、銀、白金族を中心に  
確実に回収する技術力  
の高さと取扱高は常に  
業界トップクラス
- めっき用化成品などエレ  
クトロニクス業界向け製  
品を多彩に開発・製造・販  
売するほか、産業廃棄物  
処理も行い、トータルリサ  
イクルサービスを提供
- 全国を網羅する産業廃棄  
物収集・運搬許可を取得

## 食品関連事業

### 事業内容

- 世界各国から、安全  
な食材（水産品・畜産  
品・農産品など）を調  
達し、加工食品メー  
カーや中食・外食産  
業のお客様に供給

### 事業の強み

- 世界各国の仕入ネットワークを通  
じユーザーの求める商品を調達
- ユーザーが最も使いやすい形態・  
ロットでフレキシブルに一次加工
- 品質保証室による産地指導、品質  
規格書の発行やトレーサビリティ  
のサービスで差別化



### 創業期

**1935年**

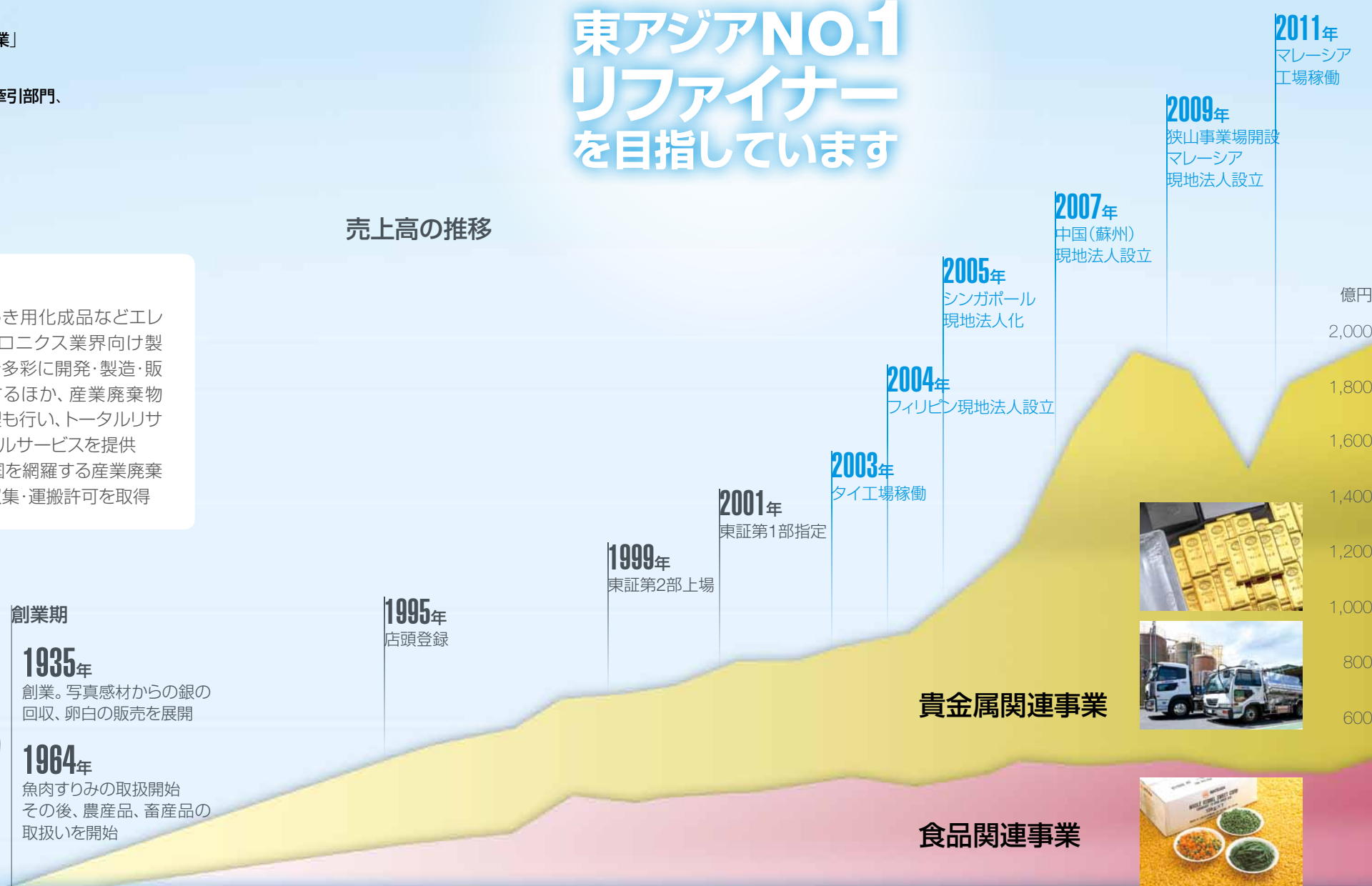
創業。写真感材からの銀の  
回収、卵白の販売を展開

**1964年**

魚肉すりみの取扱開始  
その後、農産品、畜産品の  
取扱いを開始

## 売上高の推移

# 東アジアNO.1 リファイナー を目指しています



95/3 96/3 97/3 98/3 99/3 00/3 01/3 02/3 03/3 04/3 05/3 06/3 07/3 08/3 09/3 10/3 11/3 12/3

## 強化された体制のもと、 東アジアNo.1リファイナーへの 取り組みを加速します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社の2012年3月期(2011年4月1日～2012年3月31日)の  
IR HANDBOOKをお届けいたします。  
本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。



### マレーシア工場が 2011年11月に稼働

製錬設備を備えた新工場  
が稼働しました。東アジア  
で拡大する貴金属リサイ  
クル需要を取り込み、事  
業の拡大を図ります。

### 2012年3月期の業績と配当につきまして

主力顧客である半導体・電子部品業界におきましては、タイの洪水によるサプライチェーン寸断の影響や一部の電子機器販売の不振により、各社の生産が減少しました。このような中、当社グループは、貴金属原材料回収が減少したものの、貴金属価格の上昇により地金販売が増収となったことから、2012年3月期の連結業績は、売上高は1,876億6百万円(前期比2.2%増)となりました。利益につきましては、営業利益68億37百万円(同13.0%増)、経常利益70億28百万円(同14.5%増)、当期純利益42億6百万円(同15.9%増)となりました。このような業績を受け、期末配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり12円とし、第2四半期末配当金と合わせた年間配当金は、前期と同額の24円といたしました。

### 生産・技術・販売における体制を大幅に強化

近年、東アジア地域は、中国やインドなどの新興国における半導体・電子部品需要の高まりや円高の進行を背景として、グローバルな部品供給地として重要性が増しており、当社グループは、これ

ら需要の取り込みに向けて、シンガポール、タイ、フィリピン、中国、マレーシアに拠点を築いてまいりました。

当期においては、タイに続く第二の東アジアの製造拠点としてマレーシア現地法人の新工場が、2011年11月に稼働しました。同地区にはエレクトロニクス関連の工場や日系企業が数多くあり、事業の拡大を図ってまいります。さらに、営業面の強化に向けては、貴金属関連事業における市場調査、情報収集などを目的としてベトナムのハノイに駐在員事務所を設立、化成品等貴金属製品の販売などを目的として台湾に支店を設立いたしました。

また、国内の主力工場においても貴金属の製造設備の更新投資に着手するとともに、業界ニーズに対応した化成品の開発などにも積極的に取り組んでおります。

食品関連事業については、引き続き安心・安全で高品質な食品原料を安定的に供給することを基本に据え、お客様のニーズに対応した営業展開を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 松田 芳明

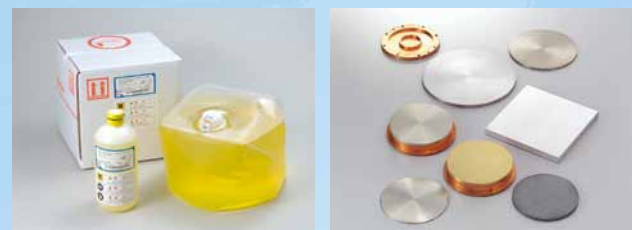


# 特集

## 松田産業グループの海外展開 ～松田産業マレーシア現地法人より

### Q1 新工場の建設地にマレーシアを選んだ理由は?

マレーシアは経済発展に伴い、特に、世界の半導体・電子部品製造拠点としての地位が確立し、市場が拡大しており、めっき用化学品の販売や貴金属リサイクルなど、当社の事業拡大に適した場所と考えられます。また勤労意欲が高く、能力のある人材が豊富なことも魅力的でした。



めっき用化学品

薄膜形成材料

### Q3 新工場の現在の稼働状況はいかがでしょう?

試運転を経て、2012年2月にオープニングセレモニーを開催し、以降、貴金属リサイクル事業・精密洗浄事業は、順調に稼働しています。

### Q4 松田産業マレーシアの来期における目標を教えてください

松田産業グループが目指している東アジアNo.1のリーファイナーの一翼を担う主要拠点として、今後さらなる営業圏の拡大及び取扱量の増加に努めてまいります。



Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.  
設立年月日：2009年6月

### Q2 マレーシア現地法人が担う役割と特徴は?

松田産業マレーシアでは、マレーシア国内においてめっき用化学品や半導体・電子材料部材などの貴金属製品を主に半導体・電子部品業界へ販売するとともに、貴金属を含んだ廃棄物を回収し、貴金属をリサイクルしています。

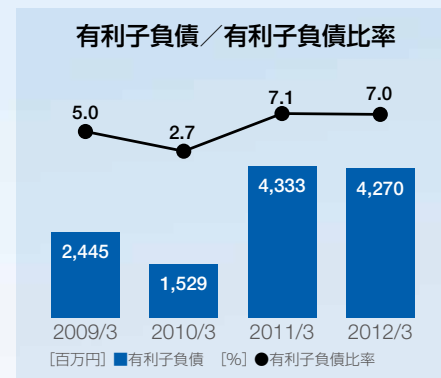
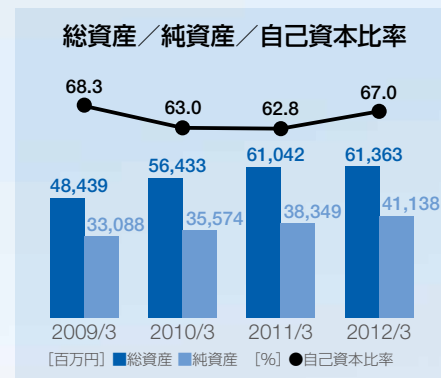
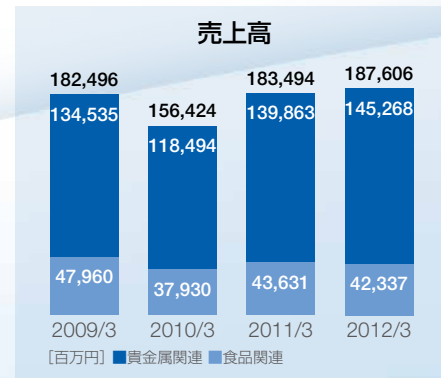
粉碎・溶解などの前処理から製錬までを行い、また、工程内で使用した各種薬品の無害化処理も行っています。その他、薄膜形成装置の精密洗浄工程も有するなど、日本国内の技術水準とほぼ同レベルのサービスでお客様の生産活動を全面的にサポートする体制を整えています。また日本で培った環境技術を導入し、マレーシアの環境保全にも大きく貢献しています。



マレーシア現地法人

マレーシア現地法人代表  
西出 梯順

# 連結財務ハイライト



詳細な財務諸表は当社ホームページでご覧になれます。

松田産業

検索

トップ画面

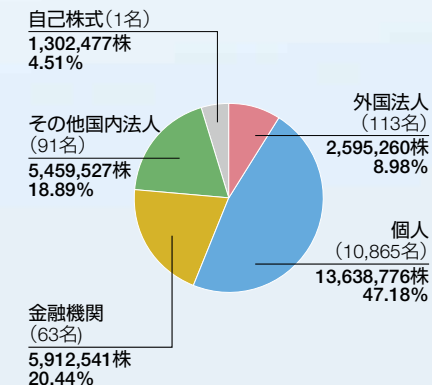
投資情報

決算短信

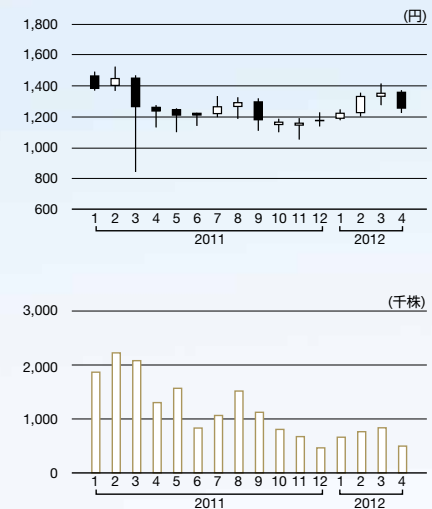
# 株式情報

株式の状況 平成24年3月31日現在  
 株式の総数 40,000,000株  
 発行済株式総数 28,908,581株  
 株主数 11,133名

株式の分布状況 平成24年3月31日現在



### 株価・出来高推移



# 事業セグメント別情報 貴金属関連事業

## ビジネスモデル(貴金属関連事業の仕組み)

「貴金属事業」では、半導体・電子材料部材などの貴金属製品を主に半導体・電子部品業界へ販売するとともに、貴金属を含んだスクラップ品などを回収し、貴金属をリサイクルする事業を東アジアを中心にグローバルに展開しています。タイ・マレーシア及び日本国内の工場で、粉碎・焼成などの前処理工程から、製錬・精製・加工等の後処理工程までを行います。「環境事業」では、産業廃棄物の収集・運搬・処理を手掛け、廃酸、廃アルカリの無害化中間処理などを行います。



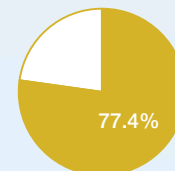
## 環境事業



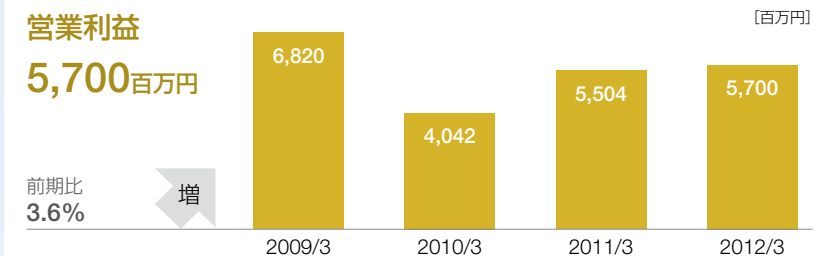
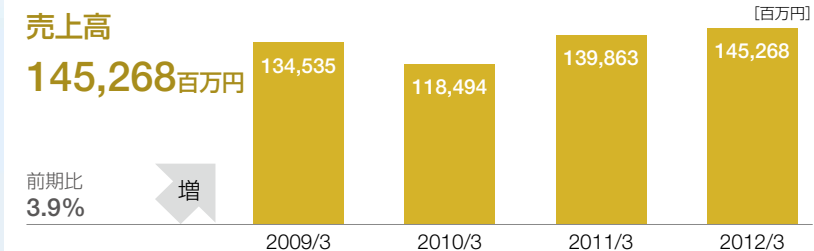
## 事業の概況

### 2012年3月期の概況

貴金属部門では、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産が総じて落ち込んだことにより、貴金属化成品や電子材料等の販売量が減少しました。また、貴金属原材料の回収量も減少傾向となりましたが、貴金属価格の上昇もあり、全体としての売上高は前期に比べ増収となりました。環境部門では、生産活動停滞の影響で取扱量は前期並みに留まりましたが、写真感光材回収における銀価格の大幅上昇により、当部門の売上高は前期に比べ増収となりました。



売上高構成比



## 戦略課題と重点施策

生産・処理能力の強化、新商品開発に向けて、「海外拠点の強化」「国内拠点の整備」「製品・技術の開発」を戦略課題として取り組んでいます。

### 海外拠点の強化

東アジアでの販売・回収網の充実

### 国内拠点の整備

入間地区設備更新・能力増強、効率化

### 製品・技術の開発

リサイクル・製造技術の向上  
新商品の開発

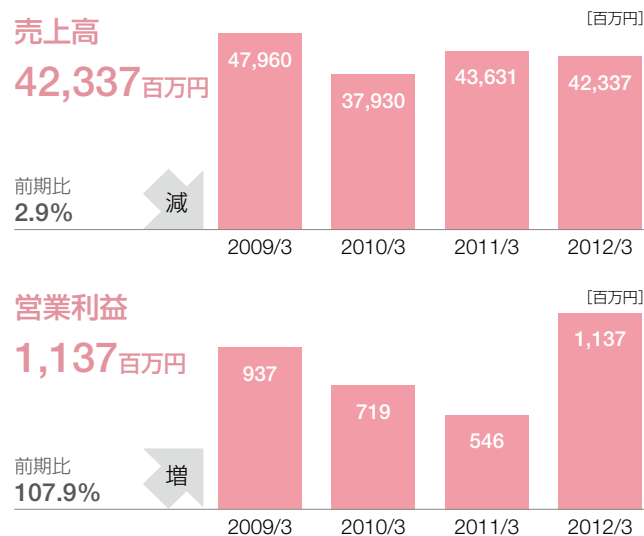
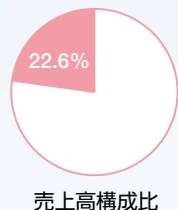
ビジネスモデル [ 食品関連事業の仕組み ]



事業の概況

2012年3月期の概況

世界的な食材の値上りや、消費者の低価格志向の強まりなど厳しい事業環境のなか、水産品については、エビ等は好調でしたが、主力のすりみにおいては震災影響による東北地区の一部顧客の生産停滞に加え、低価格帯への需要シフトの影響により、売上高が前期に比べ減少しました。また、農産品は外食産業向けの野菜の販売が減少し、畜産品は鶏卵の数量増・単価アップにより売上高が増加しました。



戦略課題と重点施策

安心・安全な商品の安定供給に向け、さらなる品質管理の徹底、トレーサビリティの強化を図っていきます。販売拡大に向けては、業務用食品原料において、仕入先との関係強化、新規商材・新産地の開拓に取り組むとともに、業容の多様化に合わせ海外拠点を強化していきます。

事業所

平成24年3月31日現在

貴金属事業部	食品事業部	環境事業部	生産本部	海外拠点
本部/仙台/水戸 東京/入間分室 川崎/甲府 長野/名古屋 大阪/金沢 福山/福岡 鹿児島	本部/仙台 塩釜/いわき 東京/小田原 名古屋/大阪 福岡 品質保証室	本部/仙台 埼玉/東京 神奈川 名古屋/大阪 福山/福岡	武蔵工場 武蔵第二工場 入間工場 入間第二工場 開発センター	シンガポール(現地法人) タイ(現地法人) フィリピン(現地法人) マレーシア(現地法人) 中国・蘇州(現地法人) 中国・青島(駐在員事務所) ベトナム(駐在員事務所) 台湾(支店)

グループ会社概要

平成24年3月31日現在

	会社名	事業内容
貴金属関連	マツダ環境(株)	貨物自動車運送
	北海道アオキ化学(株)	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
	日本メディカルテクノロジー(株)	金属原料の回収・販売
	ゼロ・ジャパン(株)	真空加熱分離装置(VTR)の設計・製造・販売および保守
	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
食品関連	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	(株)日鉄マイクロメタル	電子工業用金属製品の製造・販売
	マツダ流通(株)	貨物自動車運送および食品加工原材料の販売



会社概要		平成24年3月31日現在
商号	松田産業株式会社	
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2	
設立年月日	昭和26年6月18日	
資本金	3,559百万円	
従業員数(連結)	942名	
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、 食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理	
会計監査人	新日本有限責任監査法人	

役員一覧				平成24年6月29日現在	
代表取締役社長	松田 芳明	取締役	船本 正則	監査役(常勤)	内山 敏彦
取締役副社長	對馬 浩二	取締役	佐々木 隆茂	監査役	谷 哲夫
専務取締役	徳永 庸夫	取締役	山崎 隆一	監査役	石原 猛男
常務取締役	細田 顕治	取締役	伊藤 康之	監査役	熊坂 博幸
常務取締役	片山 雄司	取締役	馬場 信明		
取締役	田代 芳孝	取締役	木下 敦視		

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	T137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL: <a href="http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html">http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待

### 1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

### 2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。

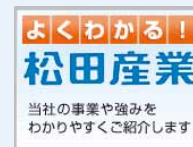
### 3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



## HPのご案内

松田産業 検索 ▶ トップ画面



当社の事業や強みをわかりやすくご紹介したコンテンツを新設しました。ぜひ、ご覧ください。

 **松田産業株式会社**

証券コード: 7456

東京都新宿区西新宿1-26-2新宿野村ビル  
TEL 03-5381-0001 (代表)

